

水墨画
佐伯久美子



ボランティアセンターだより

編集・発行 泉南市ボランティアセンター 泉南市ボランティア連絡協議会
泉南市梅井一丁目8番47号 TEL 072(483)0294 FAX 072(483)0353
泉南市総合福祉センター(あいびあ泉南)3階 sennanshi-vc@sennan-shakyo.or.jp

2016.5
さつき
泉月 80号

支えられたり
支えたり

泉南市ボランティア連絡協議会 体制

副会長 片岡アサ子	紙芝居「拍子木」	片岡アサ子
会長 岩下千景	手話サークル「虹」	岩下千景
	点訳サークル「風」	松岡初子
	外出介助「ふれあい」	高橋順子
	駅前清掃「さわやか」	小林喜代子
	訪問「そよ風」	長町幸子
	泉南おもちゃの病院	山田昭
	保育「ダンボの会」	上中 曉美
	大正琴「琴泉会なごみ」	奥 トミ子
	ミニデイサービス「ぼぶり」	藤田小夜子

活動の流れ

当日活動できるボランティア数により、外出する方の人数が決められます。



ボランティアはイオンモールりんくう泉南に集合し、外出する方をそこで出迎えます。



施設職員から、それぞれの方の希望商品や注意点などを書いたメモと数千円程度のお金を預かります。(レシートを保管)



車いすを押し、会話のできる方とは相談しながら、買い物や飲食のお手伝いをします。基本は1対1で活動しますが、場合によっては、施設職員の補助もあります。



終了後、2階フードコートに集合し、全員が揃ったら送迎バスまで送り届けます。その後、ボランティア同士で話し合うこともあります。



活動日時 第2・4金曜日
13時～15時

活動場所
イオンモールりんくう泉南

外出介助「ふれあい」では「特別養護老人ホームなでしこりんくう」に入所の方々の外出(買い物や飲食など)をサポートしています。ボランティアは現在10名。都合の良い日だけの活動も可能で、施設で行う夏祭りやイベント時だけ参加のフリー登録者もいます。

外出介助「ふれあい」

ボランティア連絡協議会グループ紹介

ボランティア保険 変更のお知らせ

平成28年度保険料および保険金額、補償内容(変更点のみ抜粋)

<ボランティア活動保険>

傷害死亡・後遺障害保険金

プランA: 1,300万円 ⇒ 1,340万円

プランB: 2,450万円 ⇒ 2,490万円

プランC: 820万円 ⇒ 1,360万円

問い合わせ 泉南市社会福祉協議会
TEL 482-1027



泉南市ボランティアセンター
TEL 483-0294
泉南市社会福祉協議会
TEL 482-1027

何事もなくお手伝いできるような気をつかうこともありますが、「ご苦労さん」など声をかけてくれたり、外出された皆さんが美味しく食べてくれた姿や笑顔・感謝の言葉も嬉しく、励みになります。ボランティア同士で親しくなることもあり、それが活動の楽しみになっています。私たちが一緒に活動しませんか!



ボランティア募集中!

2016年 ボランティア活動報告 2月～3月

- 2月4日(木) 訪問「そよ風」が大阪府立泉南支援学校で、レクリエーションの講師をしました。
- 2月11日(祝) 泉南市ボランティアセンターがイオン幸世の黄色いレシートキャンペーンに参加しました。
- 2月26日(金) 「ふれんど」がこころの保健福祉講座で、料理教室の活動発表をしました。
- 3月2日(水) ボランティアサロンで「ジャイロキネシス(全身運動)」を開催しました。
- 3月14日(月) 平成27年度大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議・研修交流会に、泉南市ボランティア連絡協議会の代表が出席しました。
- 3月19日(土) 特別養護老人ホームなでしこりんくう・介護老人保健施設ライフポート泉南で活動中のボランティアが交流会に参加しました。
- 3月24日(木) ボランティアアドバイザーがボランティアセンター当番交流会を開催しました。同日、紙芝居「拍子木」が地域子育て支援センターひだまりで、バルーンアートと紙芝居をしました。

災害ボランティア研修会 報告 2月19日



泉南市危機管理課の小西^{みねひこ}未年彦さんを講師に迎え、「被災地発! 災害ボランティアの本当の話」をテーマに、岩手県宮古市に3年間災害派遣された時の体験談を聞きました。出席者の感想をまとめました。

- ☆被災者と向き合う時の言葉かけの難しさを痛感。話を聴いて想像力を働かせ、人として心で感じ取ることが支援につながるのだと思った。
- ☆人が人に何かする時、災害時に限らずどんな時も「相手の立場に立つ」もしくは「相手の心の内を想像する」ことが大事なのだった。
- ☆被災地側の状況がわかり勉強になりました。テレビで報道されている事とは、まったく違った情報もあって驚きました。
- ☆体験した生の声を聞き、地域のボランティア力の必要性・常日頃から住民のつながりが大切だと思いました。
- ☆被災地を本当に理解しないと支援に結びつかないことがわかった。
- ☆使ってはいけない言葉があることに驚きましたが、被災者の立場になると「そりゃそうだ」と納得しました。相手の気持ちに寄り添うのは難しいです。
- ☆現金を送るのが一番。体験談なので説得力があり、よかった。「自立のための支援」良くわかる。
- ☆実際に3年間も現地活動された方の実感が新鮮でよかった。応援する側の独りよがりや思い込みが被災者の方々にはいかに迷惑なのか、教えてもらえた。

編集の窓

小さな世界

息子が以前プレゼントしてくれた、ケイキ屋さんのドールハウスキットを最近になって作り始めた。原物の十二分の一の大きさで、細かい上にメイドイン・チャイナなので説明書は中国語。イラストを見ながら老眼の目で四苦八苦。しかし、小さなケーキやテーブルなどが少しずつできあがってくると楽しい。ひたすら取り組んでいると無我の境地。これがいい。還暦を過ぎてこんなに熱中できることに出会えるとは思わなかった。細かい作業に目をシヨボシヨボさせながら、小さな世界を作り上げる大きな幸せを感じる日々である。

下澤ひとみ

泉南市ボランティアセンターは、ボランティア活動の拠点です。気軽にお問い合わせください。TEL 483-0294(平日 10時～16時)